

東芝蒸気排出ユニット 設置工事説明書

形名 BRC-U60A
BRC-U75A
BRC-U90A

安全上のご注意

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

	警告 “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 ¹ を負うことが想定されること”を示します。
	注意 “取扱いを誤った場合、使用者が傷害 ² を負うことが想定されるか、または物的傷害 ³ の発生が想定されること”を示します。

1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。
3：物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

下に示す記号は、説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。
書かれている内容を注意深くお読みください。

	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

収納庫・ワークトップなどの商品の施工は、それぞれの施工説明書に従って行うこと 施工を誤ると、使用中に取付ねじがゆるみ、思わぬけがの原因になる恐れがあります。	
配線・配管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行うこと 接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になります。	
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと 発火・感電したり、異常作動してけがをする恐れがあります。	
据付け工事は、専門業者に依頼すること ご自分で据付工事をされ、不備があった場合、感電や火災の原因になります。	
この施工説明書をよく読み、正しく確実に工事すること 不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因になります。	
アース工事を必ず行うこと アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（アース工事は、電気工事士の有資格者がD種（第三種）接地工事するよう法令で定められています。	
交流100V以外では使用しないこと 火災や感電の原因になります。	
コードをきずつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また、重いものを載せたり、はさみ込んだりしないこと コードが破損し、火災・感電の原因になります。	
コードは、端子台に確実に根元まで差し込むこと 接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。	
水につけたり、水を掛けないこと ショート、感電の恐れがあります。	
火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけないこと 変形や火災の恐れがあります。	

お願い

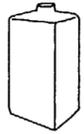
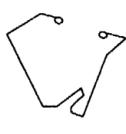
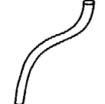
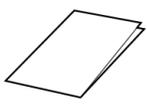
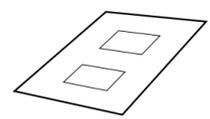
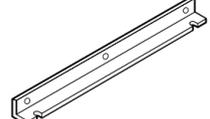
<p>施工上のお願い この商品の施工前に、取付ける対象の収納庫・ワークトップなどの商品の施工を、それぞれの施工説明書に従って正しく行ってください。特に、「安全上のご注意（必ずお守りください）」は大切な注意事項です。 収納庫・ワークトップなどの施工後、この施工説明書に従って、蒸気排出ユニットの施工を行ってください。</p>
<p>きず防止のお願い ダンボールや厚手の毛布で、収納庫やワークトップの上を十分に保護してから作業を開始してください。 ダンボールを開いたり動かしたりする時は、床や商品にきずをつけないよう注意してください。</p>

1 はじめに（工事される方へのお願い）

施工完了後は、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
本体に同梱されている取扱説明書などは、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お客様にお渡しください。

同梱部品の確認

下記の付属部品が同梱されていますので、確認してください。

水受けピン  1ヶ	水受けピンガイド  1ヶ	水受けピンガイド取付ねじ  2本（3×14）
排水チューブ  1本	蒸気排出ユニット取付ねじ  4本（4×8）	取扱説明書  1冊
設置工事説明書(本書)  1冊	専用取付金具同梱機種の場合	
位置合せラベル  2枚	専用取付金具  2本	専用取付金具取付ねじ  6本（4×12）

2 据付けの前に

（単位：mm）

事前確認のお願い

家電収納庫などのキャビネットに、この商品を取付けるための専用取付金具が取付けられていることを確認してください。専用取付金具が取付けられていない場合は、本体に専用取付金具が同梱されていますので、説明書に従って取付けてください。
家電収納庫などのキャビネットの裏板の指定位置に電源線・アース線の取り込み穴があることを確認してください。

電気配線

警告

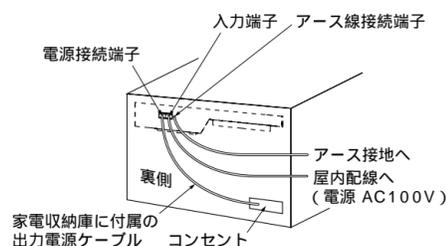
配線工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行うこと
接続や固定が不完全な場合は、発煙や火災の原因になります。

この商品を取付ける収納庫などに指定されている位置の壁面から50cm以上電源線およびアース線を取り出し
てください。
AC100V 15A以上の電源容量の専用回路が必要です。
電源線は、VVFケーブル 1.6～2.0のものをお使いください。

接地工事

漏電による感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
アース工事は電気工事士の有資格者がD種（第三種）接地工事するよう法令で定められています。
アースは、他の電気器具と共用したり、ガス管・水道管への接続は危険ですので絶対お止めください。

配線例と各部のなまえ



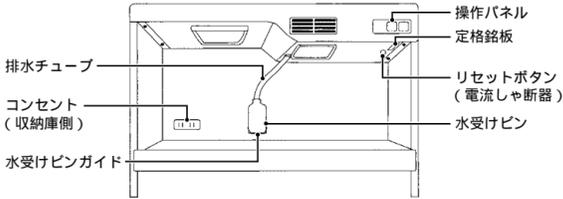
左図は家電収納庫（コンセント組込）などに配線した参考例です。コンセント位置や形状が実際に組込むキャビネットとは異なる場合があります。

3

据付け工事 (各機種共通)

(単位: mm)

1 施工例と各部のなまえ



左図は、家電収納庫などに取付けた参考図です。種類によって左図と異なります。

施工方法の説明文中では、蒸気排出ユニットを「本体」と呼びます。

2 本体の取付け

施工図面を基に、次の事項をしっかりと確認してください。確認によって補充工事が必要なときは、施工に入る前に工事を依頼してください。

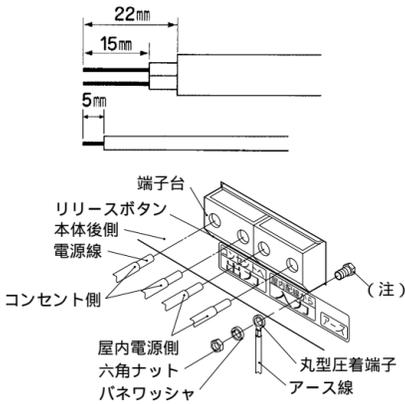
- 指定した位置に容量の適切な電源線やアース線があるか確認してください。
- ダンボールや厚手の毛布で、スライド台を保護してから作業を開始してください。
- 施工に入る前に、商品名・機種に間違いがないか、確認してください。

電源線・アース線の本体への配線工事

警告

配線する工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行うこと

配線や固定が不完全な場合は、発煙や火災の原因になります。
1,2,3,5については、配線工事をする方が行ってください。



電源線の芯線の被覆を15mmぐらいむいてください。

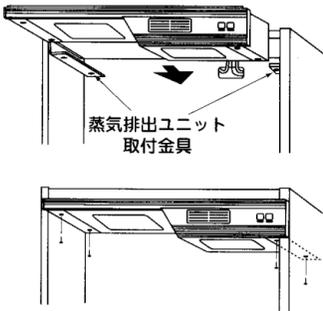
アース線の被覆を5mmぐらいむいてください。4mmねじ用の丸形圧着端子を付けてください。本体の端子台の接続口に電源線を差し込んでください。屋内電源用電源線を「入力」側に、コンセント側電源線を「出力」側に差し込んでください。

電源線を確実に結線してください。(念のため、一度引っ張って確認してください) 接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

アース端子の六角ナット1個を外して、アース線の丸形圧着端子をねじに差し込み、六角ナットで確実に締め付けしてください。(注) 下にある六角ナットは絶対にゆるめないでください。

1

本体の取り付け



本体後部に貼り付けである蒸気排出ユニット取付ねじ(4×8)を取出してください。本体を蒸気排出ユニット取付金具に載せ、前からスライドしてセットしてください。

蒸気排出ユニット取付ねじ(4×8)で、本体を蒸気排出ユニット取付金具に最終固定セットしてください。

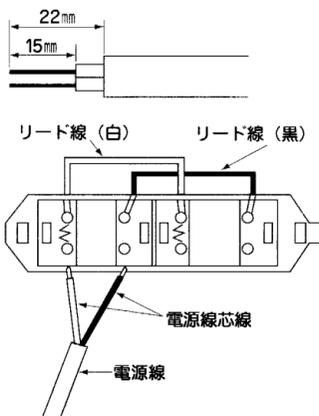
2

電源線のコンセントへの配線工事

警告

配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行うこと

接続や固定が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。



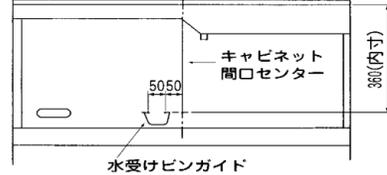
電源線(本体「出力」側からの)の芯線の被覆を15mmぐらいむいてください。キャビネットに同梱のコンセントの端子台に電源線を差し込んでください。電源線を確実に結線してください。(念のため、一度引っ張って確認してください) 接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。配線工事終了後、コンセントをキャビネットの背面に固定してください。

上図は参考例です。詳しくはキャビネットの施工説明書に従ってください。

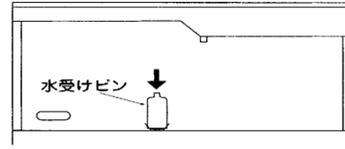
3

水受けピンの取付け

BRC-U60A / U90Aの場合

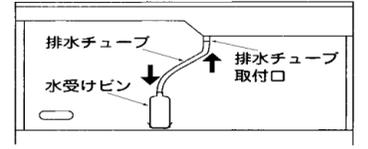
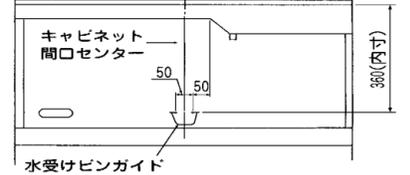


水受けピンガイドを、キャビネット背板の左図の位置に、水受けピンガイド取付ねじ(3×14)で固定してください。



水受けピンを、水受けピンガイドにセットしてください。

BRC-U75Aの場合



排水チューブを、本体の排水チューブ取付口と水受けピンの両方に確実に差し込んでください。

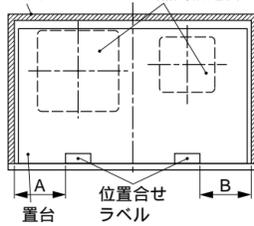
位置合せラベル2枚を左図の位置に貼付けてください。

各機種により貼付け位置寸法が異なりますので表を参考にしてください。

貼付けることによって炊飯器等の蒸気排出口と回収口の合せが簡単に行えるようになります

位置合せラベルの貼付け

【上から見た図】



	A寸法	B寸法
BRC-U60A	125	125
BRC-U75A	275	125
BRC-U90A	275	275

表

キャビネット内側からの寸法です。

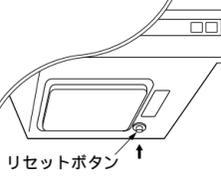
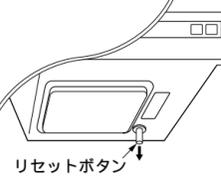
施工後の確認

次の事項をしっかりと確認してください。

本体・水受けピン・排水チューブが確実に固定されているか、確認してください。

取付け完了後の動作確認について

本体の取付けが完了しましたら、次の順序で動作確認をお願いします。



リセットボタンが飛び出している状態(電流しゃ断器がOFFの状態)で、「入/切」キーを押しても「運転モード」表示ランプが点灯しないこと。

ランプが点灯する場合は端子台の「出力/入力」端子への接続が逆になっていることが考えられます。端子台への接続を逆にしてください。再度リセットボタンが飛び出している状態のまま、「入/切」キーを押しても運転モード表示ランプが点灯しないことを確認してください。

リセットボタンを押して、リセットさせてください。「入/切」キーを押して選択ボタンで「手動」に設定してください。ランプが点灯し排気ファンが運転することを確認してください。

5

工事後の整理など

工事終了後も、商品には、必要なカバーをするなどして保護してください。

不要なダンボールや廃材は、持ち帰ってください。

火器や薬品の始末には、特に気をつけてください。

本体とキャビネットの清掃を行ってください。

廃棄処分について

不要部材を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

外形寸法 (単位: mm)

